

大切な人を守りたい
皆さまへ

住宅用火災警報器は



すべての住宅に設置が 義務付けられています!!

住宅用火災警報器が多くの命を守っています



● …必ず設置
● …設置をお勧め

火災は、電気製品、電気配線、ガス機器等からも発生しています。
つまり…**火の不始末だけが原因**ではありません。
あなたの知らないうちに火災が発生するかもしれません!

奏功事例

事例1 ストープに洗濯物が落下し、警報器が鳴動したため別室の家族が避難できた。

事例2 線香が座布団に落下し、警報器の鳴動で早期発見し、ぼや程度で消し止めた。

事例3 家主不在の共同住宅の1室の警報器が鳴動し、それに気付いた他の家主が火を消し止めた。

お問い合わせ

丸亀市消防本部・北消防署
北消防署 郡家分署
南消防署

☎ 0877-25-0119
☎ 0877-28-7070
☎ 0877-98-3388

作動しない警報器では命を救えません。

製造年より10年経ったら本体を交換しましょう!



なぜ住宅用火災警報器を取り替えるのでしょうか?

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火事を感じなくなることがあるため、交換が必要です。交換の目安は、住宅用火災警報器の製造年より10年です。住宅用火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、または本体に記載されている「製造年」で確認してください。



連動型住宅用火災警報器が推奨されていますが、良い点は何ですか?

連動型の住宅用火災警報器が火事を感じると、他の場所に設置されている連動型の住宅用火災警報器も連動して警報音を発します。

- 無人の場所で出火した場合でも、他の場所で警報音を発するため、火事の早期覚知に効果的です。
- おじいちゃん、おばあちゃんの部屋で起きた火事に、他の部屋にいるご家族がいち早く気づくことができます。
- 設置された場所すべてで警報音が鳴るため、ご近所の方や道路上の通行人等が火事に気づく機会が増え、早期通報につながります。



古くなると火災を感じしない恐れがあります!

住宅用火災警報器が電池切れしたり、故障していないかボタンを押すか  ひもを引いて  確認しましょう。

正常をお知らせするメッセージ
または火災警報器が鳴る。

ピピ、
ピーピーピー



警報音はメーカーや製品により異なります。

ピーピーピー
火事です



音が鳴らない。



電池がきちんと
セットされているかご確認ください。

しーん



引き続き1か月に1回
作動確認をお願いします。

電池切れか機器本体の故障です。
取扱説明書をご覧ください。